

第5次福島町総合計画主要施策評価個人表

(提出議員名 溝部幸基)

*議員評価→「◎」十分評価できる・「○」概ね評価できる・「△」やや不足している・「▲」不足

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人財育成)

整理番号	(位置づけられるまちづくり項目) ・基本目標	進捗状況						評価コメント(任意)
		%	◎	○	△	▼	×	
1	(水産業・水産加工業) ・「育てる漁業」を中心に、前浜資源を守り育て、定期的に生産できる漁業を目指します。 ・水産物のブランド化や加工品としての利用拡大により、付加価値を高めます。	%	20.0	56.7	23.3	0.0	0.0	・イカ漁の世界的な不漁が続き、原料の確保が難しく、存亡の危機状況にある。抜本的な対策について検討の開始を。
(議員評価)		△						
2	(農業) ・各作物の収穫量を安定させ、町内消費拡大と町外への販路拡大を図ります。 ・農産物の加工品としての利用をさらに進め、付加価値を高めます。	%	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0	・農家経営の現状を把握する基礎的データ(作物別：作付面積・収穫量・収穫額等)の整備を。 ・福島版営農モデルの実践を。
(議員評価)		△						
3	(林業) ・適切な管理体制の継続に努めながら、森林資源を適正に管理していきます。 ・木材の活用や特用林産物の進行により、所得の安定、向上を図ります。	%	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0	・町有林、民有林の現状把握と適切な対策と人事配置を。 ・しいたけ栽培の原木確保を。
(議員評価)		△						
4	(商工業、地場産品) ・商工業者の所得向上に向けた取り組みを支援します。 ・町民にとって、最も身近で利用しやすい商業環境づくりを促進します。	%	16.7	41.7	33.3	0.0	8.3	・商工業者の所得衰退は著しく、閉店・廃業が漸増している。過疎・少子高齢化が進行する状況下での商業環境について、関係機関と検討を。
(議員評価)		△						
5	(観光・交流) ・「横綱の里」や町内の観光資源を積極的にPRし、町内への観光や立ち寄りを増やします。 ・観光資源のさらなる魅力化や新たな観光資源づくりにより来訪者の満足度を高め、集客や滞在の長期化、リピーターを増やします。	%	0.0	90.5	9.5	0.0	0.0	・観光関連イベントの総括的検討を。 ・町、商工会、観光協会等関係機関の役割分担を明確にし、各イベントの協力体制の確認を。
(議員評価)		△						
6	(産業創造と雇用労働対策) ・既存産業を支える人材育成とともに、地域の資源を活かした産業振興や企業を支援します。 ・本町の魅力をアピールして企業誘致につなげるなど、雇用の拡大をめざします。	%	18.2	72.7	9.1	0.0	0.0	地場産開発：事業の硬直化、固定化が見られる、現状をしっかりと分析し、効果的な事業の改善、新規事業の工夫が必要。 ・設立主旨を再認識し、構成団体・事業者の主体的な参画を喚起する対応が必要。
(議員評価)		△						

第2章 町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

整理番号	(位置づけられるまちづくり項目) ◎基本目標	進捗状況					評価コメント(任意)	
		%	◎	○	△	▼		×
1	(保健予防、健康づくり) ・一人ひとりが健康を実現することで、“まち”が元気を取り戻す“元気循環型”の町づくりをめざし、町民が健康づくりに主体的に取り組む意識を高め、健康づくり活動を支援します。 ・各種がん検診や特定健診への受診を促し、病気の早期発見に努めます。	%	9.1	90.9	0.0	0.0	0.0	・がん予防、食生活の改善、健康と運動等、日常生活の中で意識を醸成する活動に力点を。
		(議員評価)					○	
2	(地域医療) ・医療機関など関係機関と連携し、地域の医療環境や救急医療体制の確保維持に努めます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
		(議員評価)					○	
3	(地域福祉) ・少子高齢化や過疎化が進み、日常生活を送ることに不安を抱える町民が増えても、行政のサポートや地域での支え合いによって、地域で生活続けることができるように支援します。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
		(議員評価)					○	
4	(高齢者の福祉) ・年齢を重ねても地域で安心して生活できるよう、自立支援や見守りなどを通じて支援します。	%	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	・施設介護待機者の実態を踏まえ、在宅介護の支援体制強化策を早急に提供すべき。
		(議員評価)					○	
5	(障害者の福祉) ・個々の人権と個性を尊重し、支え合い自立して安心・安全に生活できる共生社会の実現に向けて、福祉サービスなどを通じて支援します。	%	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	・防災等緊急時の支援体制の確立を。
		(議員評価)					○	
6	(生活福祉、社会保障) ・要保護世帯に対して適切な支援を行い、自立を助長します。 ・国民年金、国民健康保険、介護保険などの制度について周知し理解を促します。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
		(議員評価)					○	

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

整理番号	(位置づけられるまちづくり項目) ◎基本目標	進捗状況						評価コメント(任意)	
		%	◎	○	△	▼	×		
1	(土地利用) ・土地の公益性を尊重しつつ、長期的な視点を持ち、秩序ある土地利用を進めます。 ・増加の傾向にある自然災害が発生しにくい、また、発生しても拡大につながらない、安全性の高い土地利用を進めます。	%	16.7	16.7	66.6	0.0	0.0	(議員評価) ○	
2	(自然保護、環境共生) ・地域における貴重な自然環境を適切に管理保全します。 ・生物多様性や持続可能性などをふまえ、環境やそこにすむ生物にできるだけ負荷をかけない環境保全に努めます。 ・河川の水質監視や町民への意識啓発により、排水やごみなどが環境悪化につながらないようにします。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		(議員評価) ○
3	(公園・緑地、景観、環境美化) ・町民や来訪者が自然に親しめる場として、町内の公園などを適切に管理します。 ・町民の協力を得ながら清掃活動を定期的に行い、きれいなまちを保ちます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	(議員評価) ○	
4	(ごみ処理、リサイクル) ・ごみの分別がより徹底できるよう、町民の理解と協力を促し、効率的なごみの収集に努めます。 ・ごみの減量やリサイクルにつながる取り組みを進め、資源循環型社会を推進します。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	8.3		(議員評価) △
5	(水道、排水・し尿処理) ・水道の管路や関連施設を計画的に更新、整備しながら経営の健全化に努めます。 ・排水・し尿処理を適切に行える環境づくりを進め、清潔な生活環境づくりを進めます。	%	16.7	66.6	16.7	0.0	0.0	(議員評価) ○	
6	(道路網) ・国道や道々については、国や北海道に早期整備や適切な維持補修を要請します。 ・町道や町が管理する橋については、緊急度を考慮しながら、整備や維持補修に努めます。 ・除雪を適切に行い、冬の道路環境を安全に保てるよう努めます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		(議員評価) ○

整理 番号	(位置づけられるまちづくり項目) ◎基本目標	進捗状況					評価コメント(任意)	
		%	◎	○	△	▼		×
7	(公共交通、情報通信) ・路線バスの存続や利便性の向上について、関係機関や関連自治体と連携し対策を講じます。 ・デマンドバスにより交通の利便性を高め、高齢者など利用者の外出意欲の向上につなげます。 ・情報化社会の環境充実を図ります。	%	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	・デマンドバス、温泉バス、町立診療所バス、スクールバスを、町民の利便性確保と地元民間事業者の事業量確保、経費の削減を目的に、機能的に集約する、将来的な交通体系の一元的運行の検討を。
		(議員評価)					○	
8	(住宅) ・「福島町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、既存住宅の適切な維持管理に努めます。 ・「定住促進住宅奨励金」や「空き家バンク制度」などを通じて、住宅の建設促進や空き家の解消に努めます。	%	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	・
		(議員評価)					○	
9	(児童福祉、子育て支援) ・地域社会全体で、子どもの健やかな成長と保護者の子育て支援を目的として策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図ります。	%	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	
		(議員評価)					○	
10	(火葬場、墓地) ・火葬施設や墓地公園の適切な維持管理に努めます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	8.3	
		(議員評価)					○	
11	・大雨など自然災害の発生が高まる中、町民の災害への意識を高めるとともに、防災や減災に向けた取り組みを進めます。 ・治山や治水に関する取り組みにより、災害の未然防止に努めます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	・町内会活動として、防災意識を啓蒙する仕組みが必要。 ・小河川の浚渫(土砂・立木等)。 ・防災計画の見直しが必要では。 ・防災無線の多角的活用(定時情報配信)
		(議員評価)					△	
12	(消防・救急) ・町民の防火への意識を高めるとともに、火災を未然に防ぐ環境づくりを進めます。 ・消火及び救急活動が迅速かつ適切に行えるよう、人員の確保や装備等の更新等消防・救急体制の強化に努めます。	%	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	
		(議員評価)					○	
13	(交通安全・防犯) ・町民の交通安全への意識を高めるとともに、交通事故が起こりにくい環境づくりを進めます。 ・町民の防犯意識を高めるとともに、警察など関係機関と連携し、犯罪の発生を未然に防ぎます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
		(議員評価)					○	

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

整理番号	(位置づけられるまちづくり項目) ◎基本目標	進捗状況						評価コメント(任意)
		%	◎	○	△	▼	×	
1	(生涯学習：推進体制) ・町民の生涯学習活動を支援するために必要な体制づくりを進めます。 ・子共から大人まで読書に親んでもらえるよう、読書活動を推進します。	%	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	・図書司書の正職員化を。
		(議員評価) ○						
2	(幼児教育、学校教育) ・幼稚園への支援などを通じて幼児教育の充実に努めます。 ・確かな学力の定着をめざし、基礎的な知識や技術を習得させるとともに、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力の醸成、自ら進んで学習に取り組む意識の向上をめざします。また、子ども達が心身ともに健やかに成長するための教育を進めます。 ・教職員の資質の向上や指導体制の充実に努め、各教科の理解度の底上げを図ります。 ・衛生管理を徹底しつつ、地元産食材の使用割合を高めるなど地域の特色を生かした安全・安心でおいしい給食の提供と食育の推進に努めます。 ・福島商業高等学校の魅力をも高める教育活動や部活動等を支援し、入学者の確保に努めます。	%	17.4	73.9	8.7	0.0	0.0	・時代の流れに応じた独自の支援策を展開し、今後の対応を充分検討すべき。 ・生産者が見え、美味しい地元産米割合100%を。 ・関係機関と協力して地元産食材の活用を。
		(議員評価) ○						
3	(社会教育、青少年の育成) ・「第6次福島町社会教育中期計画」に基づき、各年代の学習要求を的確にとらえながら、自主的に学ぶ場の提供に努めます。 ・青少年が心身ともに健やかでたくましく成長するよう、町民みんなで見守るとともに、ふれあい学び合う機会と場を提供します。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	・産業関係、福祉関係等との連携：テーマとしては、「地産地消」「食育と健康」「循環型社会」等。
		(議員評価) ○						
4	(スポーツ) ・町民一人ひとりが生涯にわたって各年代に応じた体力・健康づくりに親しめるように、生涯スポーツ活動を推進します。 ・スポーツを安全・快適に楽しめるよう、関連施設の維持管理に努めます。	%	0.0	92.3	7.7	0.0	0.0	
		(議員評価) ○						
5	(芸術文化、文化財) ・芸術文化の振興により町民に潤いと安らぎをもたらすことができるよう、芸術文化活動の支援や鑑賞機会の確保に努めます。 ・地域に根差した貴重な文化財を、長期的な視点に立って保存・伝承します。文化財を公開することにより、町民の文化財等に対する意識を啓発します。	%	0.0	84.6	15.4	0.0	0.0	・縄文遺跡の世界遺産登録が現実化しつつある、町の貴重な文化財として、魅力を発信する準備を。
		(議員評価) ○						
6	(地域間交流、国際化) ・本町とゆかりのある地域や人との縁を大切にしながら、町外との交流を地域の活性化に結びつけていきます。 ・外国人観光客や来訪者への対応、学校での教育など、国際化に対応したまちづくりを進めます。	%	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6	・産業、自治会活動、生涯学習、福祉関連等、両市町には学ぶべき素材が豊富にあると思います。交流の範囲を幅広くする検討を。
		(議員評価) ○						

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

整理 番号	(位置づけられるまちづくり項目) ◎基本目標	進捗状況						評価コメント(任意)
		%	◎	○	△	▼	×	
1	(コミュニティ) ・町民の自主的なコミュニティ活動を支援するとともに、活動の拠点となる施設の改修を計画的に進めます。	%	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	・町民の自主的なコミュニティ活動を誘導する指導者の育成を。
		(議員評価) △						
2	(まちづくり活動、女性の参画) ・「まちづくり基本条例」の理念に基づく、行政、議会、町民の参画と協働によるまちづくりを進めます。	%	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	・「町民の自主的参画協働」意識の醸成を。
		(議員評価) △						
3	(広報・広聴、情報発信) ・「まちづくり基本条例」の理念を基に、町民の参画と目的意識の共有を図るため、広報・広聴の充実に努めます。 ・「広報ふくしま」や町ホームページ等により、わかりやすく内容の充実した情報発信に努めます。	%	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	・HPへ町の基本的な統計資料コーナーを(人口推移・産業実態・施設利用状況等) ・行事内容の掲載
		(議員評価) ○						
4	(行政運営) ・限られた人員と予算の中で、効率的かつ機能的に行政運営が行えるよう努めます。 ・町民が親しみやすい役場づくり、迅速で親切な窓口対応に努めます。	%	18.7	68.8	12.5	0.0	8.3	・個々の職員の日々の研鑽と意識の醸成が特に重要であり、きめ細かな研修機会の提供を。 ・親切丁寧な窓口対応(挨拶・案内・説明等)の徹底を。
		(議員評価) △						
5	(財政運営) ・財政計画に基づき、計画的で健全な財政運営を行います。 ・財政運営の状況について、町民に分かりやすく公表します。	%	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	・行政コスト計算書作成。(コスト意識の徹底) ・外郭団体等への補助金見直し。(総合プレゼンテーションの実施) ・事務事業の再編・整理・統合・廃止の検討。 ・特別職の退職手当制度の廃止。(報酬見直し)
		(議員評価) ○						
6	(広域行政) ・関係自治体や団体等との連携を深め、広域的に取り組むことにより、より効率的、効果的に成果が得られるよう努めます。	%	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	・広域事務組合の業務範囲拡張の可能性について、定期的な検討を。(教育委員会、公共施設維持管理等) ・松前半島道路(松浦～白神間優先着工) ・「第2青函トンネル」実現への共同
		(議員評価) ○						